



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社ズーム 上場取引所 東
 コード番号 6694 URL <https://www.zoom.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 飯島 雅宏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 山田 達三 (TEL) 03(5297)1001
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	5,378	12.5	128	△42.7	187	△10.7	172	0.8
29年12月期第3四半期	4,780	8.3	223	45.8	210	295.3	171	214.4

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 160百万円(7.6%) 29年12月期第3四半期 149百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	76.11	74.39
29年12月期第3四半期	79.91	75.69

(注) 平成29年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は平成29年3月28日付で東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場したため、新規上場日から平成29年12月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	7,894	4,647	58.5
29年12月期	6,804	4,520	66.4

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 4,616百万円 29年12月期 4,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	ー	0.00	ー	40.00	40.00
30年12月期	ー	0.00	ー		
30年12月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,401	17.5	203	△37.9	267	△26.3	216	△24.9	95.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) Mogar Music S.p.A. 除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	2,297,412株	29年12月期	2,297,412株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	22,606株	29年12月期	42,083株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	2,270,058株	29年12月期3Q	2,145,602株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の貿易摩擦が拡大し不透明感が増しているものの、米国では景気が拡大し個人消費が好調に推移しました。欧州では、英国のEU離脱問題等、様々な不確定要素による景気の減速リスクを含みながらも、安定した個人消費が持続しました。中国をはじめとする新興国においては、各国の保護主義的な通商政策による景気下振れのリスクが増しており、個人消費の動向に一定の影響がみられました。

我が国経済は、為替レートが前連結会計年度末から当初は円高に推移したものの、4月頃から緩やかに円安に転じたこと、及び好調な世界経済が追い風となったこと等により、堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループでは、引続き新製品開発日程の遵守と新しい販売チャンネルの開拓、及びWebマーケティングの強化に努めてまいりました。また、仕入価格の上昇に伴う売上総利益率の悪化に対応するため販売価格への転嫁を行うとともに、子会社となったMogar Music S.p.A.の販売体制の見直しを行ってまいりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は5,378百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益は128百万円(前年同期比42.7%減)、経常利益は187百万円(前年同期比10.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は172百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

当社グループは音楽用電子機器事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。製品カテゴリー別の説明は以下のとおりであります。

(ハンディオーディオレコーダー)

ハンディオーディオレコーダーは、主力商品であるH6、H4nPro、H1nの販売が引続き好調であったこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,915百万円(前年同期比18.0%増)となりました。

(マルチエフェクター)

マルチエフェクターは、新製品効果により前期好調であったG3nシリーズの反動減の影響等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は642百万円(前年同期比24.0%減)となりました。

(ハンディビデオレコーダー)

ハンディビデオレコーダーは、新製品効果により前期好調であったQ2nの反動減の影響等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は264百万円(前年同期比51.6%減)となりました。

(デジタルミキサー/マルチトラックレコーダー)

デジタルミキサー/マルチトラックレコーダー(旧マルチトラックレコーダーからカテゴリー名変更)は、前連結会計年度に販売を開始したL-12の販売が堅調であること、8月に発売を開始したL-20の新製品効果による影響等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は466百万円(前年同期比117.7%増)となりました。

(モバイルデバイスアクセサリ)

モバイルデバイスアクセサリは、米国販売代理店による在庫調整等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は72百万円(前年同期比12.4%減)となりました。

(オーディオインターフェース)

オーディオインターフェースは、一部商品の在庫調整が未だ解消していないこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は78百万円(前年同期比17.7%減)となりました。

(プロフェッショナルフィールドレコーダー)

プロフェッショナルフィールドレコーダーは、当期に販売を開始したF1-SP、F1-LPの販売が好調であること、及び6月に販売を開始したF8nの初期需要による影響等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は441百万円(前年同期比27.3%増)となりました。

(ARQリズムトラック)

ARQリズムトラック(旧エレクトロニックダンスミュージックからカテゴリー名変更)は、出荷価格の見直しを行ったこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は8百万円(前年同期比199.1%増)となりました。

(Mogar取扱いブランド)

当第3四半期連結会計期間からMogar Music S.p.A.の損益計算書を連結したことにより、同社が取扱う当社以外のブランドの製品が売上計上されることとなりました。これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は311百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,090百万円増加し、7,894百万円となりました。これは主に、売掛金が877百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ963百万円増加し、3,247百万円となりました。これは主に、子会社の新規連結に伴い短期借入金が557百万円及び退職給付に係る負債が156百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて126百万円増加し、4,647百万円となりました。

以上の結果、企業の安全性を示す自己資本比率は、前連結会計年度末の66.4%に対し、当第3四半期連結会計期間末は58.5%と7.9ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては、平成30年8月10日に公表した「平成30年12月期 第2四半期決算短信」に記載した平成30年12月期の連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,512,230	2,792,457
売掛金	703,488	1,581,225
商品及び製品	1,415,156	1,861,068
原材料及び貯蔵品	28,543	48,918
その他	515,501	653,258
貸倒引当金	—	△30,550
流動資産合計	6,174,920	6,906,378
固定資産		
有形固定資産	155,397	216,069
無形固定資産		
のれん	—	192,463
その他	28,992	81,633
無形固定資産合計	28,992	274,096
投資その他の資産	445,352	498,335
固定資産合計	629,741	988,501
資産合計	6,804,661	7,894,879
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,249,496	1,281,199
短期借入金	678,000	1,235,991
未払法人税等	102,770	12,396
賞与引当金	22,051	49,583
製品保証引当金	34,459	38,926
その他	196,917	465,499
流動負債合計	2,283,696	3,083,596
固定負債		
長期借入金	—	7,505
退職給付に係る負債	—	156,406
固定負債合計	—	163,912
負債合計	2,283,696	3,247,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,276	212,276
資本剰余金	296,502	262,864
利益剰余金	4,054,330	4,136,894
自己株式	△92,989	△49,965
株主資本合計	4,470,120	4,562,069
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	50,845	54,010
その他の包括利益累計額合計	50,845	54,010
非支配株主持分	—	31,290
純資産合計	4,520,965	4,647,370
負債純資産合計	6,804,661	7,894,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	4,780,921	5,378,775
売上原価	3,154,873	3,580,908
売上総利益	1,626,048	1,797,866
販売費及び一般管理費	1,402,318	1,669,660
営業利益	223,730	128,206
営業外収益		
受取利息	1,362	2,407
持分法による投資利益	73,913	95,684
保険解約返戻金	—	29,207
その他	679	597
営業外収益合計	75,956	127,896
営業外費用		
支払利息	7,644	24,558
為替差損	30,630	4,476
租税公課	30,259	25,717
上場関連費用	20,728	—
その他	—	13,404
営業外費用合計	89,262	68,156
経常利益	210,423	187,946
特別利益		
投資有価証券売却益	2,302	—
特別利益合計	2,302	—
特別損失		
固定資産除却損	175	—
特別損失合計	175	—
税金等調整前四半期純利益	212,550	187,946
法人税、住民税及び事業税	63,285	43,252
法人税等調整額	△22,195	△11,852
法人税等合計	41,089	31,399
四半期純利益	171,461	156,546
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△16,230
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,461	172,777

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	171,461	156,546
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△13,629	1,824
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,262	2,547
その他の包括利益合計	△21,891	4,372
四半期包括利益	149,569	160,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,569	175,942
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△15,023

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは音楽用電子機器事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。